

令和5年度における各部等の重点目標 (達成状況)

目 次

■ 総 務 部	・ ・ ・ ・ ・ 1	■ 建 設 部	・ ・ ・ ・ ・ 11
■ 企画財政部	・ ・ ・ ・ ・ 3	■ 上下水道部	・ ・ ・ ・ ・ 13
■ 民 生 部	・ ・ ・ ・ ・ 5	■ 中央病院事務局	・ ・ ・ ・ ・ 15
■ 健康福祉部	・ ・ ・ ・ ・ 7	■ 教育委員会事務局	・ ・ ・ ・ ・ 16
■ 農林商工部	・ ・ ・ ・ ・ 9	■ 農業委員会事務局	・ ・ ・ ・ ・ 18

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

総務部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	防災、減災につながる防災マップを作成し配布します。	防災マップの作成及び每户配布 令和6年3月末まで

達 成 状 況
防災マップの作成及び每户配布 3月末完了



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 防災マップの作成	各種災害時に市民等が取るべき行動を分かりやすくまとめた、冊子型防災マップを作成します。	【防災マップの作成及び每户配布】3月末完了 2月19日 防災マップ納品 3月27日 每户配布終了
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

総務部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
2	市有財産の適正管理を図ります。	(1)公共施設個別管理計画の改訂 令和6年3月末まで (2)遊休資産のサウンディング型市場調査の実施 実施回数 年3回

達 成 状 況
(1)公共施設個別管理計画の改訂 令和6年3月完了 (2)遊休資産のサウンディング型市場調査の実施 3回



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 公共施設個別管理計画の改訂	令和6年度以降における取組内容の再検証を行います。	【施設の長寿命化事業の実施方針】未決定 8月～9月 作業部会員の選出 9月～10月 個別施設計画の進捗状況等の調査 11月～12月 個別施設計画の進捗状況の確認 12月～2月 個別管理計画第1期実施計画(個別施設計画を含む。)の改訂に向けた調整 3月 個別管理計画第1期実施計画の改訂(庁議決定)
(2) 遊休資産のサウンディング型市場調査の実施	遊休資産(土地・建物)の売却・貸付に向けて、サウンディング型市場調査を行います。	【サウンディング型市場調査の実施回数】3回 8月 サウンディング型市場調査(1回目)実施要領公表 9月 サウンディング型市場調査(1回目)応募なし 10月 サウンディング型市場調査(2回目)実施要領公表 12月 ・サウンディング型市場調査を実施(1件)⇒ 検討の結果、民間事業者による対象物件の活用を取りやめ ・サウンディング型市場調査(3回目)実施要領公表 2月 サウンディング型市場調査を実施(1件) ⇒ 対象物件の活用の検討を継続中 ※売却等の手続は、サウンディングによる結果に応じて実施を検討する。
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

企画財政部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	人口減少対策に取り組めます。	社会増減数 ▲60人／年 (第2期総合戦略 基本目標KPI)

達 成 状 況
社会増減数 ▲22人／年



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 移住・交流の促進	移住・定住者向け住宅購入等の助成、移住お試し住宅、移住情報の発信、移住相談等を実施します。	【事業を活用した移住・定住者数】 延べ 94世帯232人 (実数 90世帯217人) ■移住・定住支援制度 ・移住支援金 5世帯 17人 ・住宅取得支援事業 62世帯 164人 ・引越し支援事業 27世帯 51人 ■移住お試し住宅(通年開設) ・利用件数 19世帯 31人 ■移住情報の発信・移住相談 5月 広報とわだ、市HP掲載 7月 東北移住つながり大相談会 9月 青森県UIターン・交流フェア Web、SNS広告(1回目) 1月 JOIN移住交流地域おこしフェア Web、SNS広告(2回目) 青森冬の暮らしセミナー
(2) 結婚・婚活の支援	新婚世帯の結婚新生活や結婚式等に要する費用を一部補助します。	【事業を活用した世帯数】 24世帯 ■結婚新生活支援事業 13世帯 ■ウェディングメモリアル支援事業 11世帯 5月 広報とわだ、市HP掲載 市内関係事業者へチラシ送付 6月 十和田商工会議所「FRONTIER」掲載 10月 広報とわだにより事業の再周知 12月 市公式インスタグラムにより周知 11、12、3月 ライフプランセミナーの開催(3回)
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

企画財政部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
2	市民の利便性向上につながるデジタル化に取り組めます。	DX推進ビジョンの実現 LINE公式アカウントの登録者 1,000人

達 成 状 況
LINE公式アカウント登録者数 1,750人



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) LINE公式アカウントの活用	情報発信力の強化、行政サービスの向上、窓口の混雑解消等を図るため、LINEを活用した「持ち運べる市役所」を開設します。	【登録者数】1,750人 5～6月 構築事業者選定手続き 7月25日 構築業務委託契約締結 10月1日 サービス開始 10月中～下旬 LINE公式アカウント講習会開催 ※10月以降に開催した「ふるさと出前きらめき講座」でもLINE公式アカウントについて説明を行った。
(2) YouTube公式チャンネルの活用	撮影及び編集作業に必要な機材を購入するとともに、動画作成に関する庁内ルールを整備し、動画による市政情報等の発信強化に取り組めます。	【新規投稿動画本数】 25本 【動画総視聴回数】 10,433回 5～6月 機材調達 8月30日 庁内動画作成研修会の実施 10～3月 市が作成した既存動画の収集及び事業担当課への動画作成依頼
(3) デジタル化導入の支援	事業者等を対象に、デジタル化の推進に向けた環境整備に係る費用の一部を補助します。	【補助件数】18件 ・Wi-Fi環境の整備(1件) ・リモート会議システム導入等(15件) ・キャッシュレス決済等の導入(2件) 5月 デジタル化導入支援補助金交付要綱を制定 6月 広報とわだに補助事業記事を掲載 中旬 交付決定額が予算額に達したため、募集終了
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

民生部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	市民のニーズに応じた窓口サービス等の導入により利便性向上を図ります。	(1)おくやみコーナー 8月開設、利用率 30% (2)コンビニ交付サービス利用率 25%

達 成 状 況
(1)おくやみコーナー 8月1日開設、利用率33.8% (2)コンビニ交付サービス利用率 20.0%

具体的な取組

取組の結果



目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) おくやみコーナーの開設	死亡後の手続をスムーズに行えるよう、関係各課と連携し「おくやみコーナー」運営体制を構築します。また、予約方法等の周知に努めます。	【利用率】33.8%(8～3月) ■コーナーの開設 5月 関係各課との打合せ 6月 庁内試行 7月 一般市民プレオープン 8月 おくやみコーナー開設 12月 ・アンケート集計結果を関係課と共有 ・各関係課との運営改善に係る事務打合せ ■周知、利用促進 7月 ・チラシ、ハンドブック作成、配布 ・市内葬儀社(6社)へ周知文書送付 ・十和田市ホームページ、フェイスブック、駒らん情報メール 掲載 ・プレス説明会開催 8月 広報掲載 9月 PR動画による周知(1階ホール、YouTube)
(2) コンビニ交付サービスの利用促進	チラシ、ホームページ等を活用して、コンビニ交付サービスの周知に努めます。	【利用率】 20.0% 6・7月 チラシ配布(自動車販売店、不動産業者) 8月 1階ホール記載台へ周知用カードを設置 9月 PR動画による周知(1階ホール、YouTube) 9月 周知用カードの配付(窓口及び郵便による請求者) 12月 チラシ配布(全世帯、市内高校3年生) 2・3月 ・広報掲載 ・チラシ配布(市内の主な官公署、北里大学)
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

民生部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	地域の人々と連携し、安全・安心で快適な暮らしを支えるまちづくりに取り組みます。	(1)第5次十和田市ごみ減量行動計画策定 令和6年3月末まで (2)合葬墓の整備 令和6年3月末まで (3)新たなコミュニティの組織化に向けた座談会等の開催 2地区 (4)セーフコミュニティ4回目の国際認証に向けた課題の抽出・解決

具体的な取組

達成状況
(1)計画の策定 令和6年4月 (2)合葬墓の供用開始 令和6年2月 (3)座談会の開催 2地区 (4)事前指導の実施及び指摘事項に対する各部会での検討

取組の結果



目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 第5次十和田市ごみ減量行動計画の策定	循環型社会形成推進法及び食品ロスの削減の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、ごみ減量化に向けて取り組む計画を策定します。 計画期間: 令和6年～令和8年	■第4次計画の取組状況の確認と結果の集計 10月～1月 第4次計画の実績検証及び第5次計画の目標・取組等の検討 2月 第5次計画案の作成 3月 第5次計画案の修正
(2) 合葬墓の整備	社会情勢の変化に伴う市民の新たな墓地需要に対応するため、合葬墓を整備します。	■合葬墓の新設工事 4月27日 工事契約締結 12月28日 工事完成 ■条例、規則、運用ルール等の整備 5月29日 墓石及び葬祭の事業者と意見交換会を実施 8月 使用要件・運用ルールの検討 9月 条例、規則等の改正(案)の作成 12月 令和5年度第4回定例会にて霊園条例の改正を議決・霊園管理システム改修業務委託 1月 霊園条例施行規則の制定 2月 合葬墓の供用開始
(3) 新たなコミュニティづくり支援	コミュニティ組織の立ち上げ支援や立ち上げ後の組織を支援し、新たな広域コミュニティづくりを進めます。	■組織化に向けた座談会等の開催 2地区 ■広域コミュニティの活動支援 5地区 内訳 ・事務局支援事業 5地区 (拠点施設等借上料上乘せ) 1地区 ・活動支援事業 5地区
(4) セーフコミュニティ4回目の認証	令和6年度内に4回目の国際認証取得を目指し、セーフコミュニティの認証審査員による事前指導を受け、認証に向けた課題の解決に取り組みます。	■領域別対策部会員との打ち合わせ会議 5月19日 開催 ■事前指導に向けたリハーサル 9月28・29日 開催 ■事前指導に向けた報告書作成 9月～11月 ■事前指導 11月15～17日 開催 ■事前指導後の課題解決に向けた取組を協議 12月～3月 領域別対策部会の開催
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

健康福祉部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりの強化に取り組めます。	(1)第9期高齢者福祉計画・介護保険計画の策定 令和6年3月まで (2)デジタル機器の活用により運動する機会が増えた 又は維持できた人の割合 80% (3)市民後見人養成講座受講者 20人

達成状況
(1)第9期高齢者福祉計画・介護保険計画の策定 令和6年3月策定・公表 (2)デジタル機器の活用により運動する機会が増えた 又は維持できた人の割合 97.1% (3)市民後見人養成講座受講者 19人



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定	介護保険料の設定を含め、市の高齢者福祉政策の基本的な考え方や取り組むべき施策を明示する計画を策定します。	【第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画】3月末策定 6月14日 委託契約締結【計画骨子】 6月29日 第1回介護保険運営協議会開催 6月29日 計画策定までのスケジュールを設定 9月6日 第2回介護保険運営協議会開催 国の基本指針について説明 11月21日 第3回介護保険運営協議会開催 12月26日 第4回介護保険運営協議会開催 1月23日 パブリックコメント実施 2月1日 第5回介護保険運営協議会開催 2月6日 介護保険運営協議会から答申 3月21日 介護保険条例改正について議会議決 3月22日 計画策定 3月25日 庁議で報告、計画公表
(2) デジタル機器を活用した介護予防の実施	65歳以上の市民を対象にウェアラブル端末(リストバンド型)を装着してもらい、バイタルデータを可視化することで高齢者の主体的な健康づくりを支援する実証事業を実施します。	【運動する機会が増えた又は維持できた人の割合】97.1% 6月 実施要項作成 7月 委託契約締結 8月 参加者募集 8月28日 初回説明会を開催 9月1日 実証開始(参加者 100人) 9月 機器操作等の個別対応 10月～12月 参加者へのデータの送付 12月12日 終了時説明会を開催 12月～2月 継続参加者への対応終了時アンケート結果を集計
(3) 「市民後見人養成講座」の実施	成年後見人の担い手として、市民後見人を養成します。	【市民後見人養成講座受講者】19人 6月21日 ・十和田市市民後見人養成事業実施 ・要項を制定 7月28日 委託契約締結 9月22日 十和田地域市民後見人養成講座説明会開催 参加者数 19人 10～2月 十和田地域市民後見人養成講座開催(実習を含む全11回)
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

健康福祉部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	心身ともに健やかな生活を送ることができるように、生涯にわたる健康の増進と、安心して出産・子育てができる環境づくりを推進します。	麻しん・風しん2期接種率 100% (総合計画第2期実施計画 目標値)

達成状況
麻しん・風しん2期接種率 94.9% (対象者 375人中 356人接種)



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) フッ化物洗口事業の実施	幼児期からのう歯予防を目的に、フッ化物を用いた集団的及び継続的な洗口を実施します。	【フッ化物洗口を実施する保育施設等の割合】86.2% ※29園中25園で実施 4月 実施希望調査実施 5月～ 事業開始 8月～ 検討中又は希望なしと回答した保育施設に勧奨
(2) 体組成計を活用した生活習慣改善支援	市民の健康づくりへの意識向上を図るため、体組成計を用いて体脂肪・筋肉量等を測定し、生活習慣改善に向けた保健指導を実施します。	【体組成計測定者への保健指導率】100% 5月 体組成計購入 6月～ 各事業での測定開始 [実績] ・体組成計利用 7事業46回 ・体組成計利用者数 390人 うち保健指導利用者数 390人
(3) 麻しん風しん予防接種の接種率向上	第1期(1歳～2歳未満)、第2期(小学校就学前1年間)の定期予防接種を勧奨します。	【第2期接種率】 94.9% 4月～ 1歳半健診時に未接種者への個別勧奨 4月 第2期対象者への勧奨ハガキの送付 6月 市内幼稚園・保育園へのポスター掲示及びチラシ配布依頼 7月 広報とわだへの記事掲載 8月 就学児健診案内時にチラシ配布 12月 ・第2期対象者のうち未接種者への再勧奨ハガキ送付 ・広報とわだへの接種勧奨記事掲載 1月～ 入学説明会時に保護者へチラシ配布 未接種者へ電話による個別勧奨
(4) 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施	妊娠届出時、妊娠8か月頃、出生後の面談等で相談に応じ、関係機関とも情報共有しながら必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図っていきます。	【面談等による支援率】 ・妊娠届出時 100% ・妊娠8か月頃 94.7% ・出生後 100% 妊産婦や子育て家庭の様々な事情を把握し、状況に応じた伴走型支援を面談や電話支援等で実施した。
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

農林商工部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	青年就農者の確保を図り、農村地域の活性化を図ります。	新規青年就農者数 3人 総合計画目標値令和8年度:累計60人 令和4年度:累計46人

達 成 状 況
新規青年就農者数 1人



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 新規青年就農者への支援	市の人・農地プランに位置付けられている50歳未満で新規に独立・自営する青年就農者に対し、新規就農者育成総合対策事業経営開始資金及び新規就農者育成総合対策経営発展支援事業補助金を交付することにより、農業経営の安定化を図ります。	【新規青年就農者】1人(相談者数9人) 9月 ・新規就農者育成総合対策事業経営開始資金について申請を承認 ・新規就農者育成総合対策事業経営発展支援事業について申請を承認 10月 ・現地確認を実施 ・新規就農者育成総合対策事業経営開始資金上期分を交付 1月 面談及び就農状況報告の受付 2月 新規就農者育成総合対策事業経営発展支援事業補助金を交付 3月 新規就農者育成総合対策事業経営開始資金下期分を交付 ■ その他 10月 営農大学祭で事業を周知 11月 次年度の経営開始資金対象予定者3人に対し、営農大又は指導農家宅での準備資金面談に立会
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

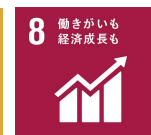
令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

農林商工部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
2	とわだ産品の認知度向上と販売拡大を推進します。	農産物の販売額 20億円 〔総合計画目標値令和8年度 24億円〕 〔令和4年度実績:16.8億円〕 ※「十和田地方卸売市場」及び「(株)産直とわだ」における販売実績

達 成 状 況
農産物の販売額 17.6億円



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 学校給食における地元産食材の使用割合向上	地元産とすることによる価格差額分の食材を購入し提供するとともに、学校給食センター、納入協力事業者、関係機関等との連携により地元産食材の使用を推進します。	【地元産食材使用率】13.9% (参考)青森県産食材使用率 62.7% 4月24日 学校給食地産地消促進会議開催 6月～3月 学校給食へ長芋、卵、豚肉、きゅうり、人参、長ねぎ、大根、キャベツを提供
(2) ふるさと納税のPR強化	新規返礼品の開拓及び納税ポータルサイトの拡充により、本市特産品のPRを図ります。	【寄附額】115,847千円 4月17日 新規ポータルサイト「JRE MALL」追加 5月 1日 新規ポータルサイト「ふるなび」追加 6月26日 ふるさと納税用返礼品新規事業者向け説明会開催 11・12月 楽天ふるさと納税で広告実施 4～3月 新規返礼品43品登録
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

建設部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	道路の防災・安全対策を推進します。	(1)改良率及び舗装率 前年度比 0.3%増 (2)橋梁点検 23橋

達 成 状 況
(1)改良率0.42%、舗装率0.25%増 (2)橋梁点検実施数 23橋



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 道路整備の推進	歩行者及び車輛の安全で円滑な交通を確保するため、効果的な道路整備を進め、道路環境の充実を図ります。	【改良率及び舗装率】 改良率0.42%、舗装率0.25%増
(2) 橋梁点検の実施	安全・安心で快適な生活を維持するため、道路ストック対策事業により、橋梁の老朽化対策を目的とした点検を実施します。	【橋梁点検実施数】23橋 判定については、 Ⅰ(健全) : 7 Ⅱ(予防保全) : 8 Ⅲ(要補修) : 7 Ⅳ(要緊急対応) : 1 計 23橋 市のホームページにて結果を公表。
(3) 土のうステーションの設置	大雨などによる道路冠水や住宅等への浸水災害に備えるとともに、被害の軽減を図るため、市民が自由に土のうを持ち出すことができる土のうステーションを整備します。	【土のうステーションの設置】15箇所 地域から要望のあった箇所等にはすべて設置し、残る5箇所には要望が出なかった。
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

建設部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
2	市営住宅の整備を行います。	(1)(仮称)北園団地・瀬戸山団地の整備 事業期間 令和6年11月30日まで (2)北園小学校構内への入居者用駐車場整備 ・測量・設計業務の完了 令和5年9月末 ・伐根・整地、教員住宅等の解体完了 令和5年12月末

達 成 状 況
(1)令和5年度末現在 一部達成 (事業継続中) (2)令和5年度末現在 達成



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 市営住宅整備事業の推進	(1)(仮称)北園団地・瀬戸山団地の整備 事業者と定期的に打合せを行い進捗管理を図りながら、工事完成を目指します。 (2)北園小学校構内駐車場の整備 測量・設計業務の完了、及び伐根・整地、教員住宅等の解体を完了します。	(1)(仮称)北園団地・瀬戸山団地の整備 ・(仮称)北園団地 3階躯体完了(建物一部について基礎施工中) ・(仮称)瀬戸山団地 1階躯体施工中 ※1階躯体工事前に先行して外構工事を実施 (2)北園小学校構内駐車場の整備 12月 伐根・整地、教員住宅等解体 完了 3月 測量・設計 完成
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

上下水道部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	快適な暮らしを支えるため、効率的で持続可能な整備を行い、経営の効率化を図ります。	(1)有収率 89.0% (2)管路耐震適合率 40.8%

達 成 状 況
(1)有収率 88.6% (2)管路耐震適合率 40.8%



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 漏水調査の実施	有収率の向上を図るため、漏水調査を実施します。	【有収率】88.6% ■漏水調査業務の実施 6月22日 委託契約締結 7月30日 調査業務開始 10月30日 現地調査完了 2月2日 業務完了 (漏水発見件数5件 修繕対応済)
(2) 管路更新の実施	安全・安心な水道水の安定供給のため、老朽化した管路を耐震管に更新し、管路耐震適合率の向上を図ります。	【管路耐震適合率】40.8% ■配水管布設替工事の実施 ・配水管布設替工事契約 4月5件、5月3件、6月3件、12月1件 12件 (延長2,752m) ・完成件数 12件 (延長2,710m) ■送水管更新工事の実施 送水管更新工事契約 6月2件 (延長480m)
(3)		
(4)		
(5)		

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

上下水道部の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
2	快適な住環境の整備と湖や河川など公共用水域の水質保全に向け、下水道施設の整備を進めます。	水洗化率 前年度比 1ポイント増 (令和4年度末 87.2%)

達 成 状 況
水洗化率 前年度末比0.1ポイント増



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 浸水対策事業の実施	浸水対策整備事業を行うため、令和7年度までに最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図及びハザードマップを作成し、雨水管理総合計画を策定します。	5月31日 十和田市浸水想定区域図作成業務委託(その1)契約締結 6月1日 第1回協議(資料の提供) 7月14日 第2回協議(主要水路基礎資料及び実測調査計画について) 8月29日 第3回協議(基本計画変更資料について) 9月1日 主要水路実測調査の実施(現況雨水排水系統及び現況農業排水路) 11月29日 第4回協議(気候変動の影響を踏まえた計画降雨の検討) 1月19日 第5回協議(全体計画、計画降雨の設定) 3月上旬 主要水路実測調査の完了 3月下旬 業務委託完了
(2) 下水道ストックマネジメントの推進	下水道施設の持続的な機能の確保とコストの低減を図るため、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする十和田市下水道ストックマネジメント計画に基づく事業を推進します。	■十和田下水道処理場設備更新実施設計業務委託契約 (履行期限: 令和6年1月31日) 6月、8月、9月、10月、12月、1月 受託業者と6回の協議実施 1月 業務委託完了、成果品納品 3月 工事発注に向けて、納品された成果品を基に算書、数量計実施設計図、実施設計書の精査、作成及び積算根拠資料等のとりまとめを行った。
(3) 十和田市浄化槽整備事業の推進	下水道集合処理区域以外におけるPFI事業による小型浄化槽設置事業を推進します。	【小型浄化槽設置基数】 10基 ■PFI事業者による事業周知活動 4月～3月 ・地元紙折込チラシ 約8,200枚配布 ・浄化槽の維持管理会社、し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬会社へのチラシ配布依頼 450部 ・戸別訪問の実施 350戸 ■市の取組(広報とわだ活用による事業周知) ・5月号 普及促進補助及び単独浄化槽撤去補助制度の紹介 ・8月号 浄化槽整備事業及び浄化槽普及促進補助制度の紹介
(4) 水洗化率の向上	公共下水道十和田処理区において、供用開始から3年を経過した未接続世帯の水洗化を促進します。	【水洗化率】 0.1ポイント増 令和4年度末 87.2%(実績) 令和5年度末 87.3%(実績) 新たに接続した世帯数 82世帯 4月～8月 ・公共下水道への接続依頼と水洗化資金融資あっせん利子補給制度をホームページに掲載 ・接続率の低い地区の把握調査 9月～3月 未接続世帯へダイレクトメールによる水洗化普及促進活動の実施 690件

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

中央病院事務局の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	持続可能な地域医療の確保を図るため、病院収支の黒字化を図るとともに、急性期医療への特化、地域医療連携の拡充及び働き方改革の推進を行います。	(1)入院人数240人/日以上 医療材料費率21.0%以下 (2)地域医療連携推進法人への医療機関等の参画1機関以上 共同購入の推進にかかる相互検証の実施2回以上

達 成 状 況
(1)入院人数206.1人/日、医療材料比率 21.04%（3月末現在） (2) ・地域医療連携推進法人への医療機関等の参画 1機関 ・共同購入の推進にかかる相互検証の実施 5回



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	病院収支の黒字化	黒字化に向けた収入の増加及び経費の削減を図ります。	【入院人数（一般）】206.1人/日（3月末現在） 【医療材料比率】 21.04% （3月末現在）
(2)	地域医療連携の拡充	地域医療連携推進法人の参加病院間で、相互支援等による病院事業連携の推進を図ります。	【地域医療連携推進法人への医療機関等の参画】 令和5年5月公立七戸病院参画 【共同購入の推進にかかる相互検証の実施】5回 6月12日 三沢市立三沢病院との協議の実施 7月14日、9月20日 他地域で導入実績のある業者との面談 9月25日 公立七戸病院との協議の実施 2月2日 業者委託をしている県病からの聞き取り
(3)			
(4)			
(5)			

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

教育委員会事務局の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	次世代を担う人材の育成に向けて、地域・関係機関との連携を緊密にしながら、教育環境の充実に努めます。	(1)大深内小中学校のグラウンド・倉庫・部室整備及び旧中学校の解体工事の完成 (2)将来の夢や目標を持っているとの回答「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計指数 ・小学5年生 93% (令和4年度 88%) ・中学2年生 80% (令和4年度 73%)

達成状況
(1)大深内小中学校のグラウンド・倉庫・部室整備及び旧中学校の解体工事 完成 (2)将来の夢や目標を持っているとの回答「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計指数 ・小学5年生 91% ・中学2年生 76%



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 大深内小中学校グラウンド・倉庫・部室整備及び旧校舎解体工事	令和5年度に開校した大深内小中学校のグラウンド整備や部室・倉庫の建築及び旧中学校校舎の解体を行います。	【旧中学校校舎の解体工事】出来高:100% 【屋外教育環境整備工事】 出来高:100% 7月4日 屋外教育環境整備工事契約締結 ・同上電気設備工事契約締結 7月24日 倉庫部室建築工事契約締結 3月8日 屋外教育環境整備工事変更契約締結 ・同上電気設備工事変更契約締結 ・倉庫部室建築工事変更契約締結 3月27日 同上3案件工事竣工検査完了
(2) 第一中学校移転準備	老朽化が著しい第一中学校を、令和4年度末で閉校した県立十和田西高等学校に移転するにあたり、安全・安心な新しい教育環境を整えるため、実施設計及び改修工事を行います。	【改修工事設計業務委託】 出来高:100% 9月11日 委託契約締結 11月22日 委託契約完了 【改修工事】 出来高:75% 令和6年度繰越事業含む 11月28日 床補強改修工事契約締結 3月29日 床補強工事竣工検査完了 出来高:100% 12月25日 内部他改修工事契約締結 3月29日 内部他改修工事 出来高:80% 令和6年度繰越 【冷房設備設置工事設計業務委託】 9月25日 委託契約締結 2月29日 委託契約完了 3月25日 冷房設備設置工事契約締結 令和6年度繰越
(3) 「未来を応援、夢わくわくスクール！」キャリア教育の実践	児童生徒の個々の生き方づくりや市の未来を考える児童生徒の育成に繋がる各校のキャリア教育に係る経費を負担し、十和田市学校教育指導の方針の具現化を図ります。	【『未来を応援、夢わくわくスクール！』キャリア教育事業』の児童生徒対象アンケートで「キャリア・パスポート等から、自分の思いや考えの変化や成長が分かる」と回答した割合】89.1% ■7月末 「今、求められる資質・能力を高めるための研修会」において、キャリア教育についての研修の機会を設けた。(25名参加) ■1月 広報とわだで特色ある取組を行っている学校を紹介し、周知
(4) 情報教育の推進	ICT支援員の活用等により、「分かる授業」の実現と情報活用能力の育成に向け、ICT環境を最大限活用します。	【1人1台端末を1日1～2回以上活用して学習活動を実施した学校の割合】81.8% 【授業中にICTを活用して指導することが「できる、ややできる」と回答した教員の割合】76% ■ICT活用に係る研修の実施 8月2日 ICT活用実践研修会を実施(延べ77人参加) ■ICT支援員派遣の継続 ICT支援員3名の計画的な訪問(各校週1回程度、月3～4回程度の訪問)

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

教育委員会事務局の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
2	誰もが楽しく学び、地域での多様な文化・芸術・スポーツの推進を通じて、活力ある人材の育成を図るとともに、国民スポーツ大会及び市史編さん業務を推進します。	(1)高森山総合運動公園人工芝張替え 令和6年3月末まで (2)市史編さんに関する今後の活動計画や方針の策定 令和6年3月末まで

達 成 状 況
(1)高森山総合運動公園人工芝張替え 令和6年1月29日完了 (2)新十和田市史基本方針策定 令和6年3月14日策定



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 高森山総合運動公園人工芝張替え整備	国民スポーツ大会の会場である高森山総合運動公園人工芝の全面張替え等の整備を実施します。	【高森山総合運動公園人工芝張替え】完了 4月19日 改修工事施行伺い 6月5日 一般競争入札実施 6月16日 契約締結 11月14日 変更契約(請負金額の変更) 1月22日 完成届提出 1月29日 完成検査、引渡し
(2) 市史編さん業務の推進	本市の歴史や文化を市民の共有財産として後世に伝え、郷土への愛着を深めるため、市史編さんに着手します。	【新十和田市史基本方針】3月策定 6月19日 第1回市史編さん検討委員会 7月15日 第1回市史編さん専門委員会 8月19日 第2回市史編さん専門委員会 9月24日 第3回市史編さん専門委員会 10月22日 第4回市史編さん専門委員会 12月4日 第2回市史編さん検討委員会 3月14日 新十和田市史基本方針策定

令和5年度における各部等の重点目標(達成状況)

部名等

農業委員会事務局の重点目標

No.	重 点 目 標	目 標 値
1	後継者の確保や意欲ある担い手育成のため、農地集積・集約を進めるとともに、経営に関する制度の周知に取り組みます。	(1)農地あっせん成立件数 10件 (2)農業者年金新規加入者数 7人 (3)後継者対策イベント参加者数 40人

達 成 状 況	
(1)農地あっせん成立件数	15件
(2)農業者年金新規加入者数	11人
(3)後継者対策イベント参加者数	43人



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	農地流動化の促進	農業者からあっせんの申し出があった農地について、農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携し、農地の受け手を探しマッチングさせます。	【あっせん成立件数】 15件 申請地区に該当する地区担当の農業委員、農地利用最適化推進委員へ、受け手探しを依頼
(2)	農業者年金の加入推進	JA十和田おいらせと連携しながら、説明会を開催して制度を幅広く周知するとともに、加入推進員のスキルアップを図り、農業者年金の加入者増加に取り組みます。	【農業者年金新規加入者数】 11人 4～9月 ・農業委員会へ来庁した若手農業者を対象にチラシ配布 ・農業委員及び最適化推進委員による加入推進の戸別訪問 6月 広報とわだへの加入推進広告の掲載 10月 JA収穫祭に農業年金相談ブースを設置 2月 地区別説明会、移動農業委員会で制度説明実施
(3)	農業後継者対策事業	関係団体及び庁内の関係部署と連携し、農業後継者を多方面から支援する交流会等のイベントを年内に2回開催します。	【イベントへの参加者数】 男性18人、女性25人 9月3日 市民図書館で農産物のPR力向上を目的とした農業後継者向けSNS活用セミナーを開催(男性12人、女性20人)(講師:県内在住のインフルエンサー) 10月28日 農業後継者向け婚活イベントを開催(男性6人、女性5人)
(4)			
(5)			